5分でPWA+通知機能を実装してみよう

by 市井P - @ichii731

2021年9月15日関連資料

自己紹介



市井P

@ichii731







年龄: 18才(大学1年)

所属: 明治大学IMS学部FMS学科

総合数理

先端メディアサイエンス

住処: 東京23区のどこか

趣味: オタク系全般

アニメ&ガジェット&IT特化サイト

「オタク総研 with IT」運営代表 兼編集責任

ウェブライター

主にPHP(Laravel)を利用して個人でWeb開発





オタク総研 Portfolio

自己紹介

新宿猫で話題のビジョンにて 明治大学の錯視広告プロジェクト の共同メンバー(企画・広報とか)

錯視広告をWeb上でVRで試せる アプリの企画開発者です…









1

Web Pushの価値と導入する方法

Web Pushを導入する意義

Web Pushとは…

ブラウザの種類によらず、JS APIを用いてブラウザ経由で受信できるようにする仕組み!

Use Case

- Web版Twitterの通知
- タイムセールの開催予定
- クーポンの配布
- →受動的な情報提供がやりやすくになる!



Web Pushを導入する意義

Web Push+PWAの成功事例

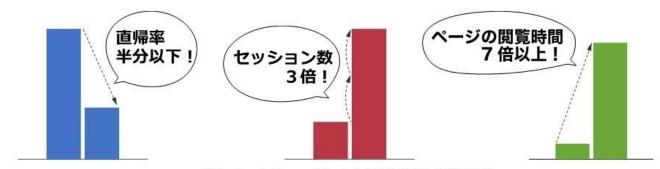
【受験のミカタ】

Push Notification経由だと

- 直帰率が半分以下
- 訪問回数が**3倍**
- サイトの閲覧時間は7倍以上という驚異的効果が。

Push Notificationの配信状況

「受験のミカタ」のPush Notificationによる流入でも、それぞれ平均と比べて、 **直帰率が半分以下**になり、**セッション数は3倍、サイトの閲覧時間は7倍以上**になる という高い効果を上げました。



※セッション数:ユーザー1人あたりの平均サイト訪問回数



※Pantograph inc.より引用

※直帰率とは…最初のページだけを見てサイトを離脱してしまったセッションの割合のこと。

Web Pushを導入する意義

→Push通知は多くの業界にとって効果的。

※PWAではないがPush通知関連の最新の話題…

ホリエモンプロデュースのパン屋「小麦の奴隷」は

【Push通知=最強のマーケティングツール】

と銘打ってリピートされやすい体制を作っている。

(ネイティブアプリだけどWebにも言えること)

結構美味しいんで食べてみてください。

Web Pushを実装する2つの手段

○自前でサーバーを立てて実装

Node.jsなどを用いて自前で実装する方法。 【利点】

- 外的な制約に縛られることなく利用可能(リクエスト制限等) 【欠点】
- 実装に時間がかかる
- Node.jsなどJavaScriptの知識が追加で必要

web-push

build failing dependencies up to date devDependencies up to date

Why

Web push requires that push messages triggered from a backend be done via the **Web Push Protocol** and if you want to send data with your push message, you must also encrypt that data according to the **Message Encryption for Web Push spec**.

This module makes it easy to send messages and will also handle legacy support for browsers relying on GCM for message sending / delivery.

Install

Installation is simple, just install via npm.

npm install web-push --save

Usage

The common use case for this library is an application server using a GCM API key and VAPID keys.

```
const webpush = require('web-push');

// VAPID keys should be generated only once.
const vapidKeys = webpush.generateVAPIDKeys();
```

Web Pushを実装する2つの手段

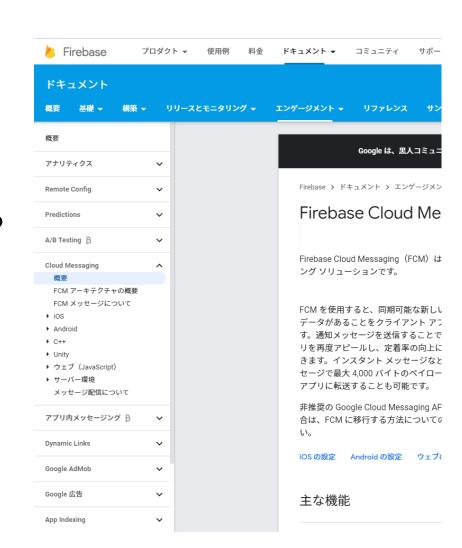
○外部サービスを利用して実装

【利点】

- Webページに**埋め込むだけ**で実装できる
- 通知実装によるサーバーリソースの浪費が格段に下がる
- アナリティクス等の解析機能が優秀

【欠点】

- APIの**利用制限等の制約**がある



Web Pushを実装する2つの手段

- ✓ PWAの長所「インスタントさ」を損ないたくない
- ✓ 時間的・知識的コストを最大限低くして"爆速実装"を実現したい
- ✓ 非エンジニアにもわかりやすいGUI・簡単操作で使いたい



外部サービスを活用!

FCM vs OneSignal

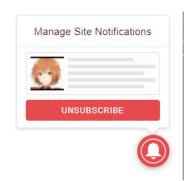
メッセージングソリューションの2大巨頭

- Firebase Cloud Messaging
- OneSignal のフリープランを比較してみる。

使いやすいかは「中・小規模事業」を基準に考慮。

FCM vs OneSignal

FCM	項目	OneSignal
_	最大送信数	10,000
Δ	管理のしやすさ	
	A/B Test	
×	時間指定送信	
	アナリティクス	
	通知登録のしやすさ	©
×	画像の添付	



結論:今回はOneSignalを使うけどお好きな方どうぞ…

2

OneSignal×PWAで実際に作ってみよう

前提条件(説明するにあたって)

- ・予めnginxやApacheでWebサーバー環境を作っておく!今回はApache。 (勿論**外部サービスを使うので**静的ホスティングサービスでも可。)
- ・HTML・バニラのJavaScriptでコンテンツを事前に作成
- →取り敢えずHTML+VanillaJSにしとけば色々活用できるから…

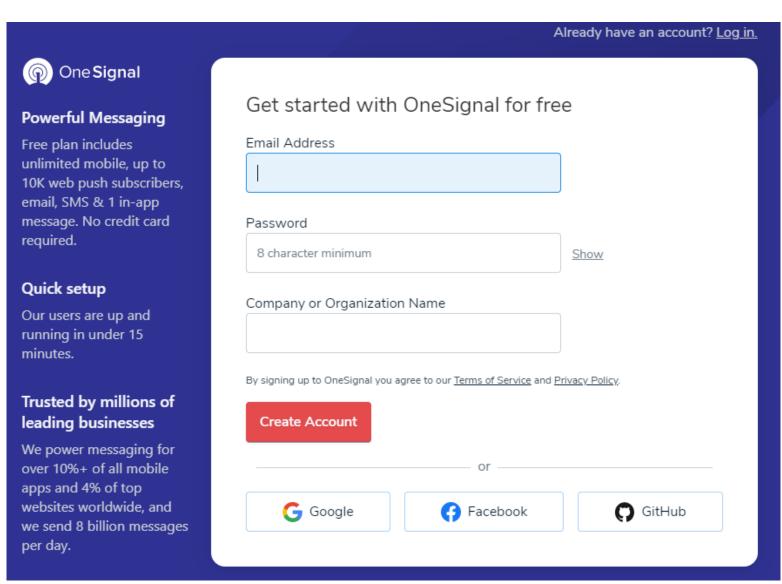
特にLaravelとかはファイルの位置入れ替えるだけで対応できるし。

- ·SSL環境が必須!
- →頑張ればlocalhostや非SSLでも出来るらしいが無難にLet's Encryptで対処。

アカウントを作成

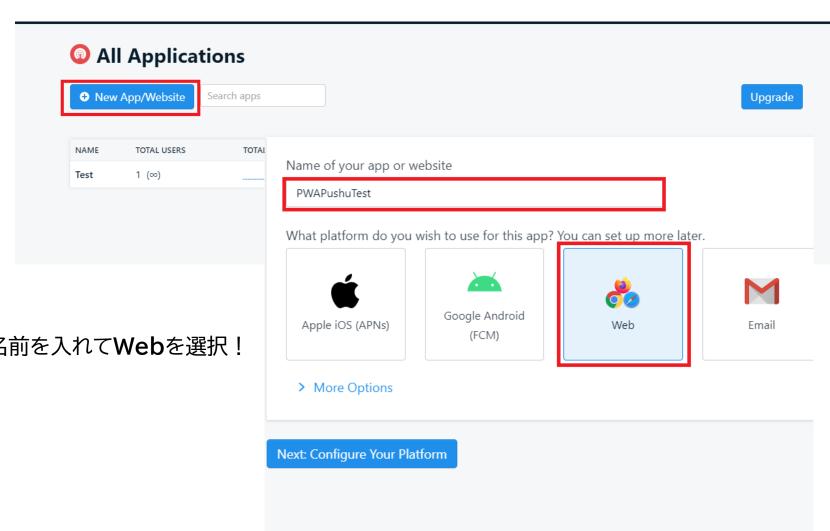
GitHub連携でとにかく時短





Appを新規作成

1.New App/Websiteをクリック

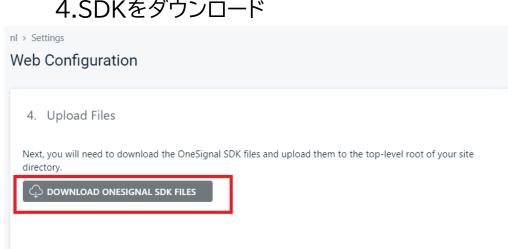


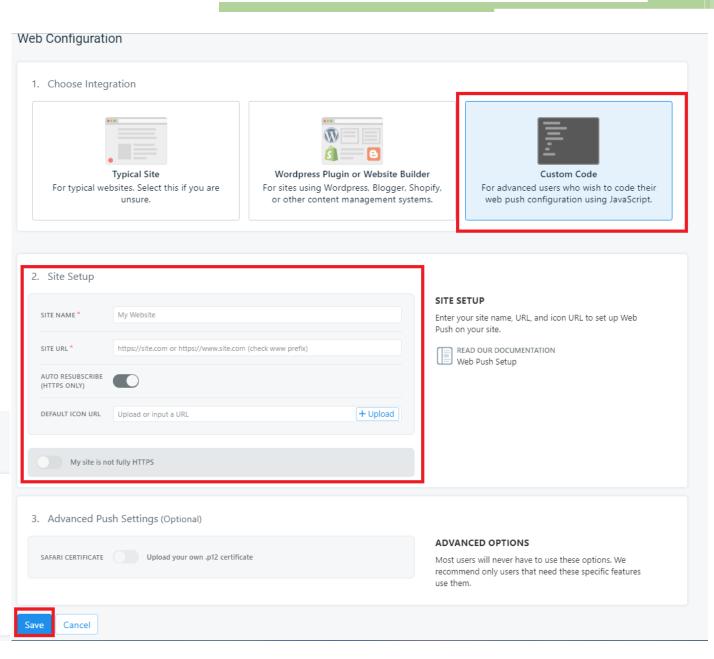
2.Appの名前を入れてWebを選択!

Appを新規作成

3.サイト情報を入力

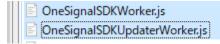
4.SDKをダウンロード





Appを新規作成

5.SDKを任意の位置に配置



SDKの位置はちゃんと考えて… SW登録したら変えるの大変…

6.表示されたコードをheadタグにコピペ

5. Add Code to Site

If you haven't already, add this code to the <head> section on all pages of your site that users can subscribe to.

Because you have chosen to use **Custom Code**, you will also need to add additional code in this section to prompt users to subscribe, along with any other logic you want to use.

☐ COPY CODE

これでOK!

Manifest.jsonを整備



PWA Manifest Generator

PWA Manifest Generator

Automatically generate a fully functional web app manifest along with size-optimized icons for your PWA

lame *	Short Name *	manifest.json Preview
		{ "theme_color" : "#f69435"
isplay	Description	"background_color" : "#f69435"
Browser		"display" : "browser" "scope" : "/"
pplication Scope	Start URL *	"start_url" : "/" }
1	/	
heme Color	Background Color *	
#f69435	#f69435	
cons * lease upload a 512x512 image for the icon and we'll generat	e the remaining sizes	
ファイルを選択 選択されていません		



GENERATE MANIFEST

ServiceWorkerを整備



Workbox CLI



SWを手軽に扱うためのツールキット「Workbox」のCLI版。Google謹製。 workbox-sw + workbox-webpack-pluginでも良かったけど、素のJS環境で検証するため、なるべくWebpackとかを使いたくなかったから。あと普通に時間短縮。

インストールは npm install -g workbox-cli で一発。

```
"" npm install workbox-cli --global
added 431 packages, and audited 432 packages in 23s
47 packages are looking for funding
  run `npm fund` for details

found 0 vulnerabilities
```



ServiceWorkerを整備

①ウィザード形式で設定ファイルを生成

workbox wizard を実行して色々聞かれるので答えるだけ。 これで設定ファイル(workbox-config.js)が作成される。

What is the root of your web app (i.e. which directory do you deploy)? Manually enter path

```
? Which file types would you like to precache?
>  png
    html
    json
    js
```

ServiceWorkerを整備

②ServiceWorkerのJSを生成

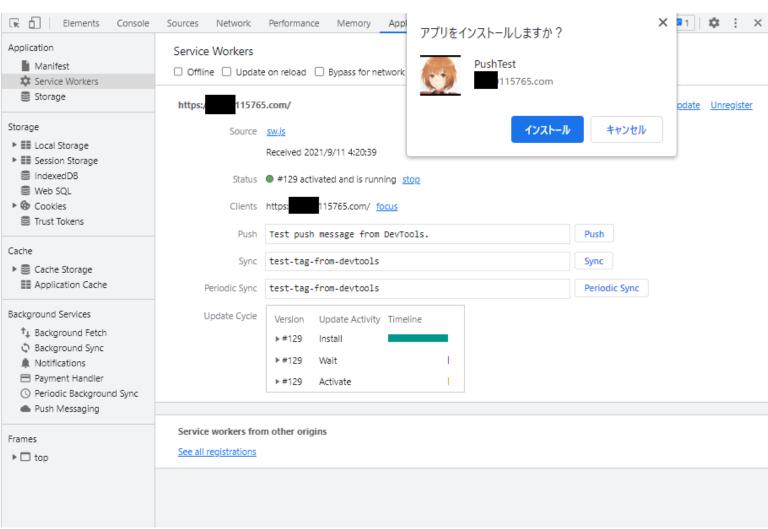
workbox generateSW workbox-config.js を実行→勝手にSWを作ってくれる! これでsw.jsが作成されるので配置。

あとはHTML内にServiceWorkerを登録させる処理を書くだけ!

PWAが使えるか確認&Push通知を許可

インストールしてみる





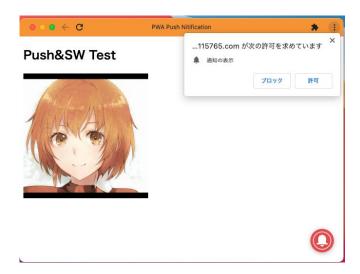
PWAが使えるか確認&Push通知を許可

通知の受信を許可する

Windows



Mac OS



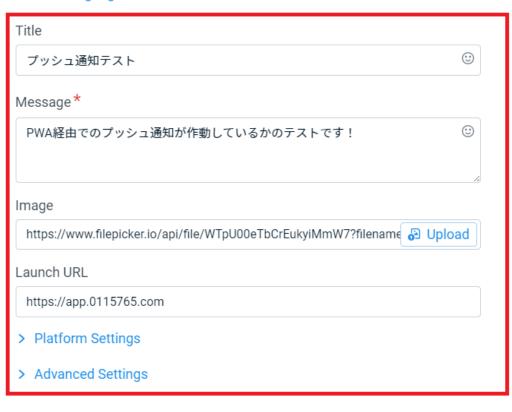




OneSignalで通知を作成

2. Message

Add Languages





3

動作確認・利用状況

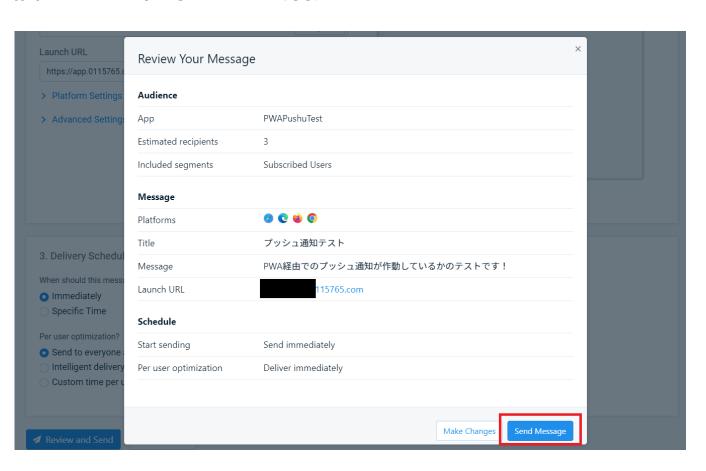
動作テスト

タイムゾーンごとの時間指定・送信したい端末OSを指定 もできちゃいます!

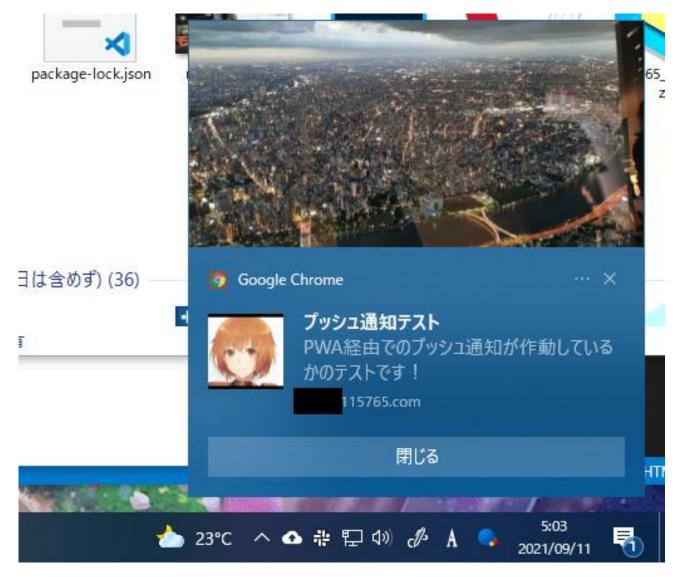
3. Delivery Schedule

When should this message start sending? ②
Immediately
Specific Time
September 11, 2021 5:03 AM

Per user optimization? ②
Send to everyone at the same time
Intelligent delivery (recommended) ②
Custom time per user timezone ②



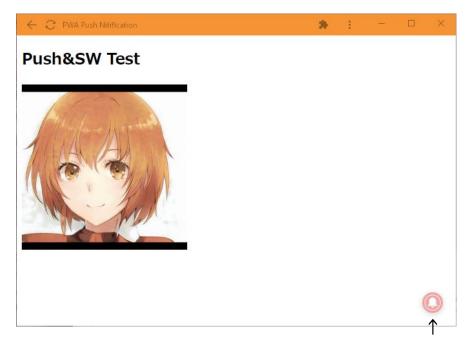
動作テスト





動作テスト

通知タップ・押下時の動作





Push&SW Test



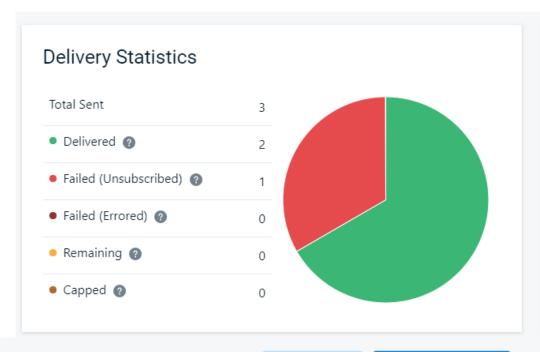


通知アクティビティが優秀!

各通知のアナリティクス

通知ごとに

- 到達完了・到達失敗の可否
- 送信数
- 通知の反応率・時間



PWAPushuTest > Delivery

PWA経由でのプッシュ通知が作動しているかのテストです!

Delivere

Actions ▼ Ø Retarget 🙃

Notification created from dashboard. Started sending at: September 11th 2021, 5:03:38 am UTC +09:00 0.46 seconds

Delivered

2

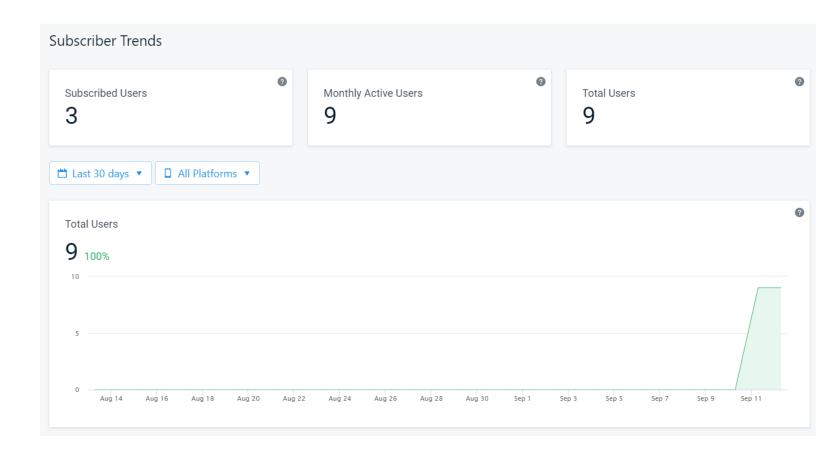
Click-Through Rate

100.00% (2 unique)

通知アクティビティが優秀!

アプリ全体のアナリティクス

- 通知を許可している数
- ユーザー数の推移
- デバイス割合
- MAU



4

ハマったところ・まとめ

ハマったポイント

OneSignalをPWAで使うとき…

OneSignalのSDKファイルにServiceWorkerのファイルを一緒に読み込む必要があった。

```
JS OneSignalSDKWorker.js U X

JS OneSignalSDKWorker.js

1   importScripts('https://cdn.onesignal.com/sdks/OneSignalSDKWorker.js');
2   importScripts('sw.js');
3
```

```
JS OneSignalSDKUpdaterWorker.js U X

JS OneSignalSDKUpdaterWorker.js

1    importScripts('https://cdn.onesignal.com/sdks/OneSignalSDKWorker.js');
2    importScripts('sw.js');
```



OneSignalドキュメント

ハマったポイント

WorkboxCLIで楽しようとした結果やらかした…

Workboxで迂闊にconfigを見ずに生成してしまったから面倒くさいことになった。

キャッシュ戦略(workbox-strategies)をhandlerで指定してあげないといけなかった。

CacheOnly	基本的にキャッシュのみを参照
NetworkFirst	毎回サーバーにリクエストを飛ばす リクエストが失敗した場合にのみキャッシュされているリソースを参照



まとめ

Web Pushは効果的!

自前で作るのもいいけど外部に頼ったが早い&簡単。

頑張れば5分でPWA対応&Push通知実装できる!!

これでまた一つWebアプリがネイティブアプリに 近づいてきたのではないでしょうか…

ご清聴ありがとうございました。

以下ページに当スライドを掲載させていただきます! あ、Twitter@ichii731も序によろしくお願いします…



ic731.net/docs/0915_PWA.html